

早崎釜・一木谷釜



(写真 早崎窯跡)



(写真 一木谷窯跡)

緑地区には、町の文化財に指定されている2つの窯跡がある。岡地区にある早崎窯跡と中緑にある一木谷窯跡。近年、御荘焼(みしょうやき)は全国的に紹介されて、砥部焼とともに有名になった。御荘焼は早崎窯や一木谷窯のほかに、菊川窯・長月窯・豊田窯の、3つの窯跡がある。

窯跡には、焼き物の破片がうまっていたり、焼き物を作る前にお祈りをする祠(ほこら)などが見られる。

早崎窯は5段になっている窯で、登窯(のぼりがま)の種類の一つである。技術がない時は急な傾斜をつかって熱度を早く上昇させ作っていたが、火に近いものは焼きすぎ、奥のものはなま焼けになっていた。技術が上がり、時代が進むにつれて、窯の傾斜がゆるやかになっていった。一木谷にあった窯も、早崎窯とほとんどかわらない登窯である。

お皿の裏側には「早崎」とかかれていた。明治時代の物がいま残っているお皿の中で1番古い。きれいな青色が特徴。器の厚さが薄いため、焼い

ている時に割れやすい。作るのに高い技術を必要とする。緑色の焼き物が
高価。

